

日本の美しい自然を 次世代に引き継ぐために

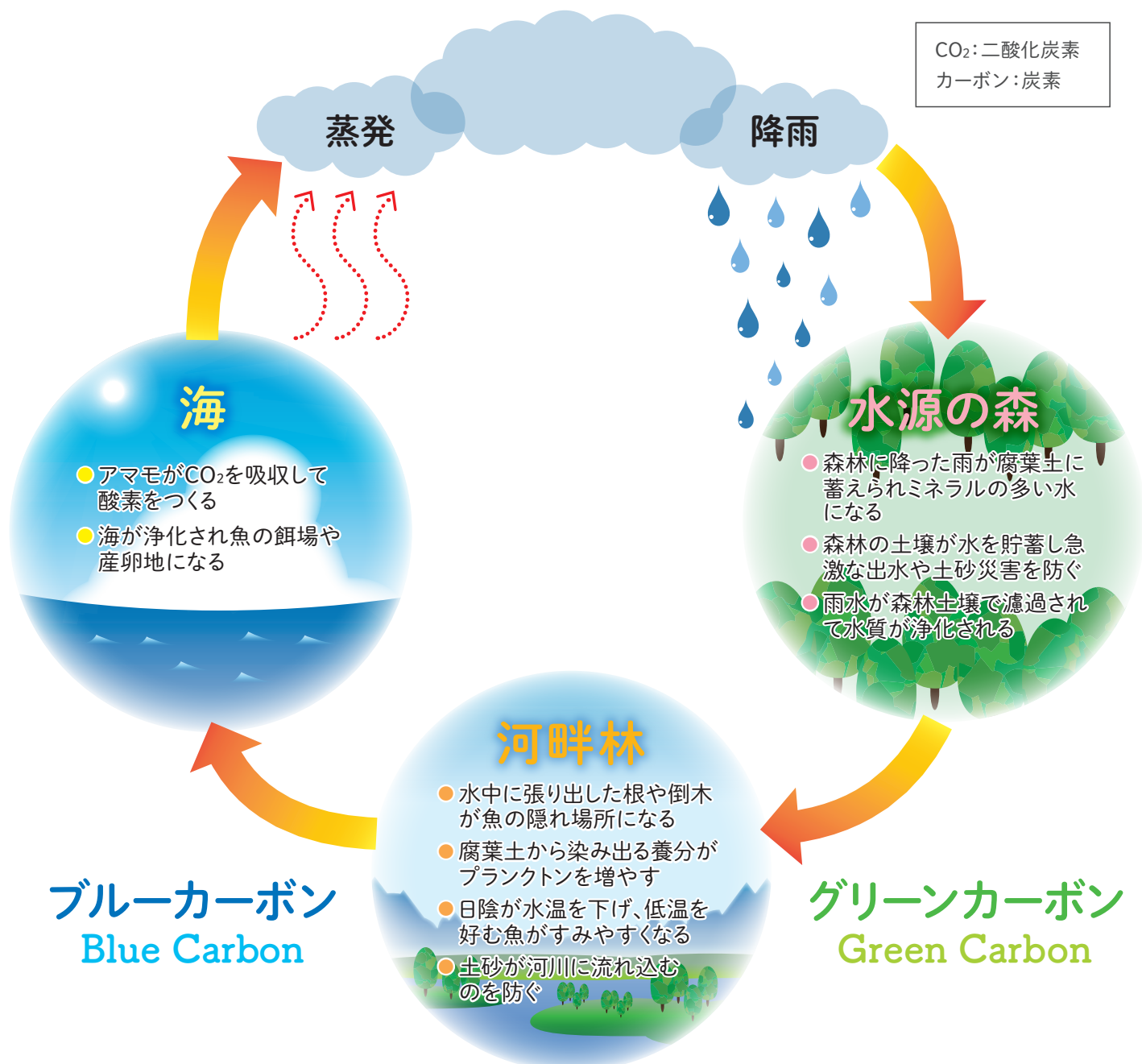
日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。



セブン-イレブン記念財団は、このプロジェクトに賛同しています

森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO₂削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。



森の保育活動で健全な森づくり

日本は木を植えて木を育て、木を切って使い、また植えるという木を循環させる文化を持っています。木が育つには何十年もかかり、その間の植樹や下刈り、間伐などの保育を人が計画的に行って森を守ってきました。

セブン・イレブン記念財団の「森づくり」の基本的な考え方は、植樹から下刈り・間伐までの森の保育活動を行い、健全な森をつくることです。2006年に「支笏湖セブンの森」をスタートさせて以来、全国で「セブンの森」づくりに取り組んでいます。



「山梨セブンの森」倒木積込作業



「滋賀セブンの森」河口の土砂を取り除く作業

2014年からは、「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱を店頭で設置し、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につなげています。



募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てています



アマモを増やして海を再生

「海の森づくり」として、水質浄化やCO₂を減らすアマモを増やして豊かな海に再生する活動に取り組んでいます。「ブルーカーボン」は、地球上の生物が固定化する全炭素量の55%を占めており、温室効果ガス削減の切り札とも言われています。

アマモを増やして豊かな海に再生する活動は、地域の方々と共にセブン・イレブン加盟店や本部社員からボランティアを募り実施しています。東京湾では2011年から「東京湾再生アマモプロジェクト」を開始し、2013年から横浜で「東京湾UMIプロジェクト」に取り組んでいます。大阪湾では、2018年から「阪南

セブンの海の森」活動、2020年からは宮城県の松島湾で「塩竈セブンの海の森」活動を開始しました。



アマモの種

「阪南セブンの海の森」アマモの播種活動

塩竈セブンの海の森

震災後に海を怖がるようになってしまった子どもたちに、もう一度海の楽しさを体験してもらう機会にするため、宮城県塩竈市と松島湾アマモ場再生会議と一般財団法人セブン・イレブン記念財団の三者



子どもたちによる干潟づくり

で2020年7月に協定を締結しました。塩竈市北浜緑地護岸沿岸のアマモ場の再生や保全活動を実施し、地域の活性化につなげています。



海洋ゴミ清掃活動

日本の美しい自然遺産を次世代へ

霧多布湿原保全活動

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を



霧多布湿原はラムサール条約登録湿地(撮影：ノーザンフォト 北村康春)

残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。

2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。

取得面積 483.1ha (2021年2月末日現在)

富士山保全活動

セブン・イレブン記念財団は1994年より富士山の環境美化保全活動への取り組みを開始しました。1998年より、セブン・イレブン加盟店と(株)セブン・イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン・イレブン記念財団 富士山保全活動」を主催し、認定NPO法人富士山クラブの協力を得て山梨県側と静岡県側を交互に清掃や外来種駆除などを行っています。



山梨県本栖湖(湖畔及び林エリア)の清掃活動

新たな「セブンの森」の展開へ

「セブンの森」は、地域の自然環境やニーズに合わせ、下刈りや植樹を行い、10年後、20年後に桜や紅葉の森にする、というようなランドデザインを作り、長期的な計画を立てて、地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを目指しています。2018年度からは、国有林・公有林に私有林も加え、地域の住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

「セブンの森」づくり累計活動結果

(2006年度～2020年度)

活動回数	191回
加盟店と本部社員 参加人数	13,307名
一般参加人数	4,873名
参加者数合計	18,180名

「セブンの森」づくり一覧 (全25カ所、うち終了8カ所)

2021年2月末日現在

都道府県	名 称	場 所	開始年	面 積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～ 2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	北海道厚岸郡浜中町	2018年～	483.1ha	湿原
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～ 2019年終了	1ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～	1ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～	6.0ha	緑地
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～ 2018年終了	2.0ha	森林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～ 2016年終了	2.5ha	森林
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森 ～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 I	埴科郡坂城町	2012年～ 2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 II	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～ 2019年終了 2020年更新	1.2ha →8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～ 2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～	3.6ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲渕	2015年～ 2020年終了	1.8ha	森林
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～ 2020年終了	3.0ha	森林
面積合計				1158.5ha	

自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」
を基本理念に、大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で
自然学校を運営しています。

くじゅう 九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、2007年4月に開校し、ラムサール条約に登録された「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」をはじめとする草原環境の保全や草原性チョウの保全活動、さらにお米も生きものも育む自然共生型の田んぼづくりや地域に根付く伝統野菜の普及・啓発を通して、人と自然が共生する里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。

また九重町教育委員会や地域団体と連携し、自然体験を通じて、子どもたちのふるさとを愛する心を育む環境学習に取り組んでいます。



職員集合写真



田植え作業



稲刈り体験

TOPIX

2020年11月、地域の小学生と一緒に取り組む「自然共生型の田んぼづくり体験」や、九重町教育委員会と連携

し、町内小学生を対象にした自然体験活動「ふるさと探検クラブ」等の活動が青少年健全育成に寄与しているとして、大分県青少年育成県民会議様より表彰状、また大分県知事より感謝状を頂きました。



ふるさと探検クラブの様子



表彰状



感謝状

高尾の森自然学校

「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点施設を構えて取り組む協働事業です。2015年4月に開校し、東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールドに、貴重な森林を守り、育むことにより脱炭素社会の実現に寄与します。また、東京都レッドリストに掲載されている貴重な動植物の保護・保全活動を通して、生物多様性の重要性を体験し学ぶとともに、地域の自然、歴史、文化などを次世代に継承していく人材を育てます。

管理棟で受付を済ませればどなたでも自由に来館できます。森の中の散策路や遊具で自由に遊ぶこともでき、季節によって様々な生き物や植物を観察することができます。



職員集合写真



水辺観察会



バードウォッチング



収穫体験

また週末には、様々なプログラムやボランティア活動を行っています。都心に近い立地を生かし、保育園、小学校、中学校、高校、企業の自然体験活動や自然観察会の受け入れも行っています。

